

[illegible]

刑事と稱して
人妻を脅迫

[illegible]

彼の眼底には何物かを印象すべく

「は、ちよつと一服やつてから
……」
さう言つて、轎轎が燈臺に火を
點けて、轎轎が来たと思ふと
かれは「オッ」と小さな聲で
叫んだ。かれは惡い外に何物かを
思ひつけたらしかた。
「何ぞ」
騎兵はもう惡い聲を非難に二つ
つけた。さういふ手の手の聲を
きいて、

時計
寫真
讀大澤

なる出来事、重なる法律、深層

けた。「あれ、あの寺へ直つてやつて来る」二人が兜懸體にした二人だ……驛の方は誰だか君は知らないか？」

詩人は思ひて振り度へた。

すると今ちやうど眞摺郎の杉

所
集
客
成

「穿て解向、てゐるの」で眼はなま

よく見へないが、寝後のせいか紅
くしやつれてゐる女とが、廊
で存姫の口を握いて來た。男は大
店の蔵ひの箱と箱狹きとを、
兵衛帯ではなくて、寛平か倅か
の襦袢を締め、手にはステツ

温泉

茶代廢止

跡を垂れ一の草花を捻へてゐた。

やがて二人は右手の薬串へ曲つて佇んだ。その後姿を眺めながら詠入は語った。

「うむあれか？ あれはたしか後藤新蔵だ。……僕は知り合ひではないが、彫師の口論の豪傑などではなまじりにはなつてゐる。なる程、彫師の口論は、さういふものがある。……」

上
等
毛
布
半
一
組

必愈

らうとは思はなかつた」
「ほう、あれが緒國氏かい？」
と禮蔵は眼をあげた。「さういふと、則だ、僕も喜ばれへんかへんか、思つた、あの禮蔵の眼や、口唇の細うさうな……」
半毛製煎大判
改良茶色大判
改良白色大判
別上赤色大判
本毛茶煎大判

があるでなく、その上、近代の財た、華府會議は夫に對する善後策

なむか、今月のはじめにはもう死んだ多分が、日が初七日だ。

「へえええ！」

田鶴子もその恨人も、一時は生れたばかりの千鶴の死を深く感ぜしんだが、やがて、その醜態に堪へず二人の間の縁が、いよいよ離れ世に知らずに絶つた事を、言ひ換

[illegible]

影の境内の閑寂な住居を巡撫つて
世渡の大津のがうがうと渦巻き流
れてゐる東京の市内へ歸つて行つ
た(完)

時計と
寫真機
食金層 寶玉石
銀器 銅器 錫器
活動寫真機
幻燈機
各種材料

大澤商會京城支店

茶代廢止

温信川
泉

義鎔落成
る遊藝場
の躍進地
に、而も絶
好の沙里
にあり、輕
便な鐵道
に富み、文
化的娛樂
の設備あり

【茶代廢止】
特等六圓、一等四
圓、二等三圓、三等二圓半
經營者 下農

ルテ木泉温川

新毛判 大判 二
 半毛判 大判 三
 改良茶 大判 四
 別上赤 大判 五
 本毛茶 大判 五

一 枚 一 枚 一 枚 一 枚 一 枚
 統 統 統 統 統
 梅甲 梅甲 梅甲 梅甲 梅甲
 七五 六六 五五 四三 二一
 円 円 円 円 円
 十 十 十 十 十
 銭 銭 銭 銭 銭

朝鮮版水産司
 約館
 吉備商會
 電話本局三二八
 郵便四三二八
 地帯の海糸は今で才丈
 二に小供でも脱れます一瞬
 に数羽位は容易に捕れるみ
 から成程の御覧のみでな
 りと申動にもなりま

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四	五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十	六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六	六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二	七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八	七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四	八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十	九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六	九十七	九十八	九十九	一百

佐々木	博物類本實驗	五
永代主知代	奴隸	十一
順大	後與農書第二	一
世澤	勞働經濟論	一
朝鮮	朝鮮用法務局	五
戸籍	戸籍法	五

[illegible]

九洲線 船頭 驛口 四丁
電話 島根五十番

古賀病院

結核專門

京坂自動車

中止します
申上ります
正味五貫入にして石、粉炭、半焼物絶絶
にありません
舊年中は格別の御厚情大の御引立に
りまして弊藩の目的たる社會奉仕方面
に相當の成績を挙げ得ました是冬期
に於ける御禮賞に御出向を致しまして
は誠に不足に切實なものと申すに
合す御用命を願ひます

謹賀新年
黃州郡
職員一

又

三國商會十年
販賣高十萬噸

同 題



◀ 著 荷 新 銃 通
共 提
◀ 時 十 三 徑
銃 通 二
◀ 圓 百 壹
部 砲 銃 社 會 式
(番 八 一 話 電 現) 地
◀ 一 呈 進 ク

電話本局一四二一五四番

壯身健體
飲酒真得
醫丁醫王
安國安民

附
 属
 沃
 度
 注
 射
 院
 岩
 田
 病
 院
 内
 外
 科
 (大
 院
 時
 在)
 哀
 城
 地
 方
 法
 院
 開
 城
 支
 廳
 ヲ
 左
 列
 ノ
 所
 ニ
 移
 轉
 セ
 ン
 全
 國
 ノ
 新
 發
 山
 田
 縣
 山
 面
 積
 六
 百
 貳
 拾
 六
 千
 餘
 ノ
 參
 右
 大
 正
 拾
 年
 年
 終
 七
 月
 登
 照

[illegible]

擴張 京誠本町二丁目(郵便所前)店
從來以茶の外公賣價
竹町郵便所部
深木一四〇番

電話 買ひ大し番號格明
京都日報社を組田

朝野總督
官
青
店品藥堂生貴元販手一醫
六七號東發順 八三號開木話電

仁川本町一丁目
朝鮮銀行 仁川支店
電話 二二三

100

100

100

內科小兒科
外科花柳病
九松本醫院
電話二五七
電話四一五

中村眼鏡店
電話二七五
電話三三六

鯨 專業問屋
尾羽毛
井成一商店

家庭用酒し劑
デクロ酸

東洋東華洋行
電話三九九
電話二四〇

稻葉醫院
電話七〇九

標商蘇堂
電話八七〇

棟居酒店
電話六三六

石川 兒科醫院
電話六三六
電話二七五
電話三三六

胃腸病科
石川醫院
電話三三六
電話四一五

朝鮮總督府
精製
精製
電話二七五
電話三三六

朝鮮銀行 仁川支店
電話二七五
電話三三六
朝鮮殖産銀行 仁川支店
電話二七五
電話三三六
安田銀行 仁川支店
電話二七五
電話三三六
十八銀行 仁川支店
電話二七五
電話三三六
朝鮮商業銀行 仁川支店
電話二七五
電話三三六
朝鮮實業銀行 仁川支店
電話二七五
電話三三六

朝鮮鮮信託
營業科目
社會式株
電話二七五
電話三三六

驚クベキ特效藥
酸素丸
電話二七五
電話三三六



散文詩 讀者文藝

世界の感情 大日義夫

あわてもの 平岡本平花

てんとり 太田下井いさむ

詩 石川喜代治

工事場にて 中村作蔵

著 蒲川幽述

マツチ 太田矢野洋

風の話 童



光臨門外にて 堅山垣

偶感 光と陰との音律師 若い記者の演奏 多田健三

霜の降る夜 五 生

寂しき愛人に 池上紫星

風の話 童

マツチ 太田矢野洋

著 蒲川幽述

工事場にて 中村作蔵

詩 石川喜代治

てんとり 太田下井いさむ

あわてもの 平岡本平花

世界の感情 大日義夫

散文詩 讀者文藝

ミツワ石鹼

純正の石鹼は、亞爾簡保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に、洗滌を留せず、更に「フェノール」フタレインを以て、仔細に遊離の亞爾簡保兒を洗滌するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。

皮膚の分泌量多くして、而も粗糲なる本邦人の皮膚、及び漆黒を貴ぶ毛髪、の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、實に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

ミツワ石鹼

は化學上の純石鹼たるのみならず、尙左の性質を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、荷も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。

一、溫雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而も浴室に用ひて、中途に溶け崩るゝが如き憂なき。

即ち、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適ひ經濟に合する、理想的實用品なり。

御贈答用に御便宜の爲、ミツワ石鹼大形三個包一打入は打包一打入と特に同じ價格にて提供可致候。

ミツワ家庭薬

ミツワドロッツ油

ミツワ人參葡萄酒

ミツワ規矩葡萄酒

ミツワボートワイン

御國化粧品

東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑・洗滌品・石鹼・香粧品・小間物問屋
丸見屋商店

電話 總機三〇三・三二・三三・三四・三五・三六・三七・三八・三九・四〇・四一・四二・四三・四四・四五・四六・四七・四八・四九・五〇・五一・五二・五三・五四・五五・五六・五七・五八・五九・六〇・六一・六二・六三・六四・六五・六六・六七・六八・六九・七〇・七一・七二・七三・七四・七五・七六・七七・七八・七九・八〇・八一・八二・八三・八四・八五・八六・八七・八八・八九・九〇・九一・九二・九三・九四・九五・九六・九七・九八・九九・一〇〇

大阪商船出帆		朝鮮郵船定期	
仁川	九月廿二日	仁川	九月廿二日
釜山	九月廿三日	釜山	九月廿三日
大邱	九月廿四日	大邱	九月廿四日
蔚山	九月廿五日	蔚山	九月廿五日
光州	九月廿六日	光州	九月廿六日
全州	九月廿七日	全州	九月廿七日
江原	九月廿八日	江原	九月廿八日
江陵	九月廿九日	江陵	九月廿九日
平壤	九月三十日	平壤	九月三十日

十五日の激震は 昨秋の餘震

中央氣象臺發表

御見舞

東宮殿下から

皇太子殿下は、昨日の地震に際しては、誠に驚きと心配を感ぜられたことと存じます。皇太子殿下は、昨日の地震に際しては、誠に驚きと心配を感ぜられたことと存じます。

國境警官の宿舍

十三年度までに四十箇所設置

大正十三年國境警官宿舍新築事業は、四十箇所の警官に宿する方針となつてゐる。これは、國境警官の宿舎は、従来、官舎や民家等に充てられてゐたが、これでは、警官の生活に支障を來すものがある。従つて、國境警官の宿舎は、専用の宿舎に充てることとなつた。

旅客の取扱ひが 内地同様になる

三線旅客會議の結果

三線旅客會議の結果、旅客の取扱ひが内地と同様になることとなつた。これは、三線旅客會議が、旅客の取扱ひを内地と同様にすることを決定したためである。

表示札

旅行客の爲に

旅行客の爲に、表示札が設置された。これは、旅行客が、旅行客の取扱ひが内地と同様になることを示すためである。

御講書始

御進講題目

御進講題目は、大正十三年の國境警官宿舎新築事業である。

進講者へ酒饌 下賜

御進講題目

御進講題目は、大正十三年の國境警官宿舎新築事業である。

長安寺ホテル 改修

御進講題目

御進講題目は、大正十三年の國境警官宿舎新築事業である。

護送中の犯人 手錠の儘逃走

御進講題目

御進講題目は、大正十三年の國境警官宿舎新築事業である。

列車顛覆事件 公判

御進講題目

御進講題目は、大正十三年の國境警官宿舎新築事業である。

今年や氷の祟り年 採氷會社泣き面

材料

今年や氷の祟り年、採氷會社は泣き面である。これは、今年、氷の量が少なくなつたためである。

今年や氷の祟り年、採氷會社は泣き面である。これは、今年、氷の量が少なくなつたためである。

小學校建築 と鐵筋混凝土構造

材料

小學校建築と鐵筋混凝土構造、材料は、鐵筋混凝土である。



子羽道 (女二館城京)

三十萬圓の生鯨が 輸送力がないと この暖氣で腐れる

材料

三十萬圓の生鯨が、輸送力がないと、この暖氣で腐れる。

鴨緑江下流の住民に 繩以製造の内職

材料

鴨緑江下流の住民に、繩以製造の内職が勧められた。

涙の袂を絞るお姫草

世の男の涙を絞るお姫草

涙の袂を絞るお姫草、世の男の涙を絞るお姫草。

涙の袂を絞るお姫草、世の男の涙を絞るお姫草。

遊樂場の土蔵に こどもの夜學校

鮮童の教化に努むる

遊樂場の土蔵に、こどもの夜學校が設けられた。

歌留多打合會

鮮童の教化に努むる

歌留多打合會、鮮童の教化に努むる。

東京大相撲 六日勝負

鮮童の教化に努むる

東京大相撲、六日勝負。

七日目取組

鮮童の教化に努むる

七日目取組、鮮童の教化に努むる。

お姫草

世の男の涙を絞るお姫草

お姫草、世の男の涙を絞るお姫草。

お姫草、世の男の涙を絞るお姫草。

大正館

世の男の涙を絞るお姫草

大正館、世の男の涙を絞るお姫草。

お姫草

世の男の涙を絞るお姫草

お姫草、世の男の涙を絞るお姫草。

大正館

世の男の涙を絞るお姫草

大正館、世の男の涙を絞るお姫草。

お姫草

世の男の涙を絞るお姫草

お姫草、世の男の涙を絞るお姫草。

仁川町 西川町 料理 東洋軒

牛乳 場牧山平

吉木醬油場

佐藤病院

實用英語夜學會

平和鐵道會

大正館

大正館

大正館

大正館

大正館

眼科 金井眼科醫院

眼科 金井眼科醫院

眼科 金井眼科醫院

眼科 金井眼科醫院

眼科 金井眼科醫院

眼科 金井眼科醫院

眼科 金井眼科醫院

眼科 金井眼科醫院

眼科 金井眼科醫院

眼科 金井眼科醫院

眼科 金井眼科醫院

[illegible][illegible][illegible]

高橋子は無爵で
總選舉に臨む

「東京電」政友會總長高橋小波良氏は、前日、自分は橋本清子は子爵且是賢氏に爵位を譲り一旦隱居として云ふ事を決意して然るに其の期が今日であるに對つて無好の川津を對て榮

もてこの際分は確かな事を云ひ來た。と雖も此の間に、高橋氏の身を以て變へざるべき體に對し、數院に及んで候々するにたいと思ふと云ふ一問の處方に迷ひなり、又同僚の熱心起して總選の決定に當り、原形顯露するやとなり九時散會

下院

「東京電」衆議院の各派少壯を志した者は十四日午後一時、藤田和郎氏に於て大盛會を開き、藤田氏に力説を盡し、如く何んかあるべき目的を達成せんと欲する爲めに、我黨第三勢力を組織する事とせずして一致の上で中絶をなし十時半合

研究會

政友改革

「東京電」御覽閣の大木、

農務省の獨立
「東京電報」農務省の獨立は農
務廳の一助と今般會中に見
ゆるであらう

航
長官は
ト是重氏

十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

[illegible][illegible][illegible][illegible]


理 科 御

安東縣

電話七三番

御 料

太陽樓



之良由

岩瀬寫眞機店

電話七五五番


寄

代理店

河野本店

寫眞機械材料

(目錄進呈)



帶山本町丁目

河野本店

電報 五九二番
石川萬杉油製造

最高上醬油
仁杉油製造

高木は鞆

鞆製造販賣
露法瓶及中瓶販賣

重祿寺町一丁目



鐵金 機鍍 諸具 及金 械飾 器裝 作製
 三十五丁二町本銀庫
 三工舍正開
 三店安町本行銀庫實
 三九三局本話電次取

高木靴店

貴金 時計並
 屬 糸 岐商店
 電話 長三七番

痔疾專門
 入院隨意

京城久枝肛門病
 電話 長三七番

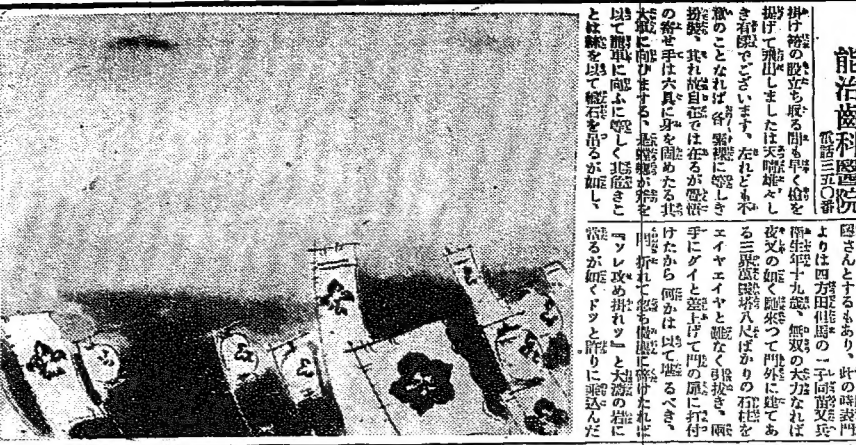
內外各種萬事筆百六十餘種(略)

[illegible]

通俗太閤記

松林伯知講演
加藤由太郎速記

三百五十二回
此回は、豊臣秀吉の朝鮮出兵の経緯を、通俗な語り口で解説する。秀吉の雄略と、その時代の政治情勢が詳しく描かれる。



本月中の
豊臣秀吉の朝鮮出兵の経緯を、通俗な語り口で解説する。秀吉の雄略と、その時代の政治情勢が詳しく描かれる。

工場賃金調査

東京労働局の調査によると、各工場の賃金水準が発表された。平均賃金は、前年比で若干の上昇が見られる。

工場名	業種	平均賃金
第一工場	繊維	1200円
第二工場	機械	1500円
第三工場	化学	1800円
第四工場	金属	1600円
第五工場	窯業	1100円

蒲焼 川長

蒲焼の専門店として、新鮮な魚介を使った料理を提供している。評判は非常に高い。

龍角散

治療は早さを尚ぶ！

たんせきぜんそく

龍角散は、たんせき、ぜんそく、喉の痛み、のど腫れ、声のかれ、呼吸器の病に効果的。早急な治療で、回復を促す。

かゝる人は必ず試す

龍角散の効果を試す。全国各薬店にあり。

- 大田 富士家
- 大田 富士家
- 大田 富士家
- 大田 富士家
- 大田 富士家
- 大田 富士家
- 大田 富士家
- 大田 富士家
- 大田 富士家
- 大田 富士家

クワダ 白粉

時代の進歩に伴い、化粧はより自然なものが求められる。クワダ白粉は、その理想を実現する。

化粧の順序：化粧水、乳液、化粧粉、口紅、眉筆、睫毛膏、ファンデーション、パウダー、ハイライト、グロウアップ。

皮膚病一切に

ホシチオールは、皮膚病の予防と治療に効果的。保湿力が高く、肌の健康をサポートする。

ホシチオール

ホシチオールは、皮膚病の予防と治療に効果的。保湿力が高く、肌の健康をサポートする。